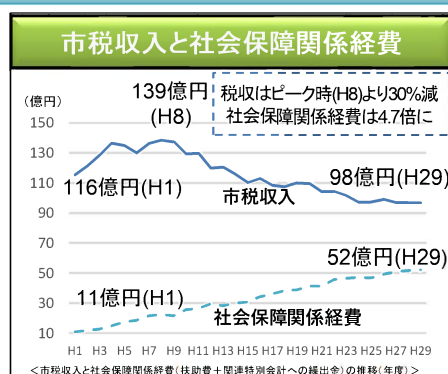
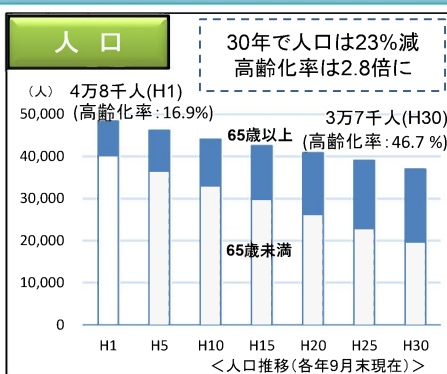
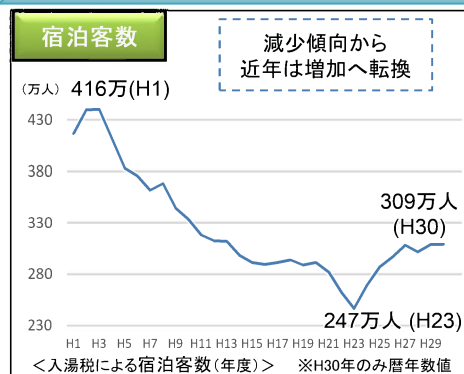




平成30年間の熱海市の変化



熱海2030ビジョン「回復から躍進へ」

人口減少社会であっても、経済の持続的発展と豊かな市民の暮らしを実現できる
温泉観光地の全国モデルを創ります。

観光・経済の活性化

～市民の暮らしを豊かにする原資を得る～

世界屈指の地域資源を生かし、観光地経営の視点での強力なシティプロモーション、観光インフラの整備などを行い、来遊客に癒しと感動を与える温泉観光地・熱海をつくります。

観光地経営の仕組みづくり



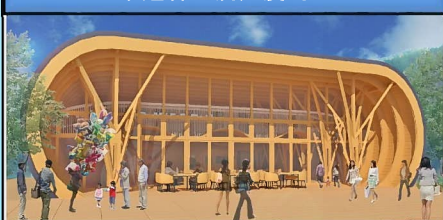
観光基本計画の策定「変化しつづける温泉観光地熱海」
熱海型DMO構築・観光財源の確保の検討

積極的な誘客施策の展開



静岡デスティネーションキャンペーン等を契機とした積極的な誘客施策

来遊客の満足度向上



受入環境整備・観光インフラの整備(姫の沢公園拠点施設整備、初島交流広場休憩施設整備等)

教育・福祉の充実

～豊かな市民の暮らしを実現～

市民の誰もが、長寿・健康・生活の豊かさを享受でき、手厚い子育て支援、充実した教育環境の整備などにより、市外へ出て行った子どもたちが戻ってきたいと思う熱海をつくります。

就学前環境の充実



(仮称)あたま認定こども園の整備
(2020年4月 開園予定)

教育の質の充実



中学校2・3年生への民間英語検定の導入
小学校1・2年生へのALTの配置

「熱海版地域包括ケアシステム」の構築



モデル地区で、高齢者サロンと介護予防事業などの連携、住民主体の生活支援サービスの拡充などを推進

仕事・くらしの変革

～観光関連産業や地域コミュニティ活動など市民生活の基盤を確保～

安定した雇用を創出し、生涯地元で働くことのできる職場環境、良好な住宅環境などを整備するとともに、若者からシニア世代まで、いつまでも働くことのできる熱海をつくります。

観光関連産業の競争力強化に向けた検討



人材の確保や生産性の向上など産業界と行政が連携して共通課題に取り組んでいくための議論の場の創設

地域コミュニティ活動の支援



町内会の活動を支援する新制度の創設
地域づくり人材育成のための講習会の開催

市民・観光客の安全・安心の確保



消防団第2(中部地区)分団詰所の新築、消防団第1(東部地区)・第7(下多賀・中野地区)・11(網代地区)分団詰所の改修等



熱海市 令和元年度予算・施策の概要

★ 「回復から躍進へ」 熱海2030ビジョンの下、熱海躍進のための礎づくりに本格的に着手する年

一般会計予算 (歳入) 市税 97.3 億円 (対前年度比 0.8%増)、繰入金 10.1 億円 (同 36.8%減)、市債 20.3 億円 (同 29.8%減)
 198 億 4,300 万円 ※ 市税収入 (対前年度比): 市民税 (個人・法人) 0.42 億円増、固定資産税 0.67 億円増、入湯税 0.13 億円増
 (対前年度比△13.07 億円 6.2%減) (歳出) 人件費 37.5 億円 (対前年度比 1.3%増)、扶助費 35.4 億円 (同 1.6%減)、公債費 15.6 億円 (同 3.4%減)
 普通建設事業費 34.5 億円 (同 12.7%減)、物件費 35.4 億円 (同 3.0%減)、補助費等 11.7 億円 (同 23.3%減)

経済の持続的発展と豊かな市民の暮らしを実現できる温泉観光地の全国モデルを創っていくため、熱海2030ビジョンの3本柱の政策を推進

観光・経済の活性化	教育・福祉の充実	仕事・くらしの変革
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 観光地経営の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・観光基本計画の策定「変化しつづける温泉観光地熱海」 ・熱海型DMO構築・観光財源の確保の検討 (観光地経営検討委託、先進地調査など 3,988 千円) ➤ 積極的な誘客施策の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・静岡デスティネーションキャンペーンの推進 (地域内回遊性向上促進事業ほか 20,317 千円) ・誘客施策の展開 (各地域の誘客施策支援 6,101 千円等) ➤ 来遊客の満足度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・観光ブランドプロモーション (第3期開始) (食の魅力アップ、回遊性の向上など 18,496 千円) ・受入環境整備、観光インフラの整備 (Wi-Fi 整備 4,554 千円、初島交流広場休憩施設整備 341,000 千円、大湯間歇泉整備 3,000 千円、姫の沢公園拠点施設整備 201,296 千円) ➤ 地域経済の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業支援、リノベーションまちづくり、A-biz による経営支援の一体的推進 (A-biz 事業 26,787 千円、リノベーションまちづくり・創業支援事業 16,360 千円) ・UIJ ターン創業・移住支援 (10,000 千円) ・消費税率改定に伴う国の増税対策との連携等 (プレミアム付商品券事業の実施、住宅店舗リフォーム補助金の増枠 3,000 千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 安心して子どもを産み育てる環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「すくすく」(母子健康包括支援センター)を中心とした母子を支えるサービスの充実 (妊産婦健康診査、産後ケア事業など 17,507 千円) ➤ 就学前環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・全入化を前提に幼保完全無償化に向けた検討 ・(仮称)あたま認定こども園整備 (530,000 千円) ・多賀幼稚園屋上防水・外壁改修 (29,538 千円) ➤ 学校施設等の整備・安全安心の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設等の修繕 (多賀小屋上防水、体育館等外壁・トイレ改修 93,288 千円、第二小校舎棟外壁・トイレ・玄関サッシ改修 186,872 千円、泉小中グラウンド舗装改修 19,970 千円) ・小学校通学路への防犯カメラ設置 (1,224 千円) ➤ 教育の質の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・次期教育大綱・教育振興基本計画の策定 ・英語教育の充実 (小学校 1・2 年生への ALT の配置 1,478 千円、中学校 2・3 年生への英語教材支援システムの導入 1,598 千円) ➤ 熱海版地域包括ケアシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区で、高齢者サロンと介護予防事業等の連携、住民主体の生活支援サービスの拡充等を推進 ・(仮称)いきいきライフサポート事業の創設 ・障がい福祉の充実に向けた議論の場の創設 ➤ 健康寿命の延伸 <ul style="list-style-type: none"> ・保健師等による健診受診勧奨、保健指導等の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 観光関連産業の競争力強化に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保や生産性の向上など、産業界と行政が連携して共通課題に取り組んでいくための議論の場の創設 ➤ 地域コミュニティ活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会の活動を支援する制度の創設 (地域活動支援補助金 2,000 千円) ・地域活動の担い手(個人・団体)支援 (地域づくり人材育成経費 1,000 千円) ➤ 市民インフラの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・南熱海支所・消防署南熱海出張所改築 (260,000 千円) ・総合福祉センター改修 (34,000 千円) ・エコプラント姫の沢の予防保全 (150,000 千円) ・し尿等処理施設整備 (484,471 千円) ・市営住宅改修・解体 (94,457 千円) ・(仮称)熱海フォーラム整備事業の検討再開 ➤ 市民・観光客の安全・安心の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団第2分団詰所新築 (74,929 千円) ・消防団第1・7・11分団詰所改修等 (16,485 千円) ・救急自動車更新整備 (40,240 千円) ・防災ガイドマップ更新 (3,053 千円) ・ブロック塀等耐震改修促進 (拡充 10,000 千円) ・津波避難路(初島・伊豆山地区)整備 (20,000 千円) ・観光客等帰宅困難者の避難・誘導計画策定 (5,000 千円)